

補正予算特別委員会総務文教分科会会議記録  
(補正予算審査)

1. 開催日	平成31年2月27日(水)
2. 場所	401・402会議室
3. 出席議員	隅田雅春座長、栗山泰三副座長、安井博幸委員、 恒田正美委員、田村直也委員、河南克典委員
4. 会議に付した事件	議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)
5. 議事の経過	<p>9:25 開会</p> <p>隅田座長 開議宣告</p> <p><b>■総務部</b></p> <p><b>日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)</b></p> <p>総務課・管財契約課・税務課</p> <p><b>【主な説明】</b></p> <p>補正予算書に基づき説明</p> <p><b>【主な質疑】</b></p> <p>恒田委員 職員研修費について、職員研修を計画通り実施できなかったため予算を減額するのか。</p> <p>総務部 職員研修については、計画通り実施している。「人権研修」や「債権管理研修」などにおいて、内部講師を活用したため、報償費に不用額が生じた。職員自主研修においても、一部災害等により実施できなかったことから減額しようとするものである。</p> <p>恒田委員 次年度においては、職員のスキルを上げるため、予算を100%執行できるような取り組みをお願いします。</p> <p>職員人件費について、時間外勤務手当を減額するとのことであるが、時間外勤務に対して、手当はきちんと支払われているのか。</p> <p>総務部 今回の時間外勤務手当の減額は、選挙に係るものであり、通常の時</p>

	<p>間外勤務手当については、所属長の時間外勤務命令に基づき、支払っている。また、休日にイベント等への出勤に対しては、振替休で対応している。</p>
恒田委員 総務部	<p>振替休は取得できているのか。</p> <p>部署によっては、繁忙期で取得時期が遅れたりすることもあるが、概ね1か月以内に取得するようにしている。</p>
恒田委員 総務部	<p>今回の補正予算とは関係ないが、以前電気スタンド一つで時間外勤務をしている状況が見受けられたが、現在はそのようなことはないか。</p> <p>時間外勤務において、必要な照明は点灯するようにと総務部長名で通達しており、現在、そのような状況はないと認識している。</p>
安井委員 総務部	<p>分限休職者について、復帰の見通しや現状について説明願う。</p> <p>分限休職者4名のうち、2名は1月に復職、1名は、入院加療中であるが、4月には復職予定である。もう1名は2年間という長期にわたり休職しているが、復職に向けて訓練をしており、医師と相談の上4月からは復職したいとの意向を持っており、市としても受け入れ態勢を整えるよう検討をしている。</p>
安井委員 総務部	<p>職員人件費に係る参考資料「平成30年度3月補正予算一覧」中、分限休職（4名）等とあるが、「等」は、どういうことか。</p> <p>分限休職以外に欠勤した者が1名あり、日割りの減額分を含めているため、「等」と記述している。</p>
栗山副座長 総務部	<p>退職手当特別負担金について、退職時にのみに負担金が発生するのか。毎年負担金が必要なのか。</p> <p>退職手当特別負担金は、年度末退職者の退職手当に係るもので、毎年負担が必要となる。退職手当の額は退職者の在職年数や最終給料など、個人によって差異がある。特に早期に退職する場合は、負担金が増えるのでそれが増額分となる。</p> <p>早期退職や定年退職の場合は、普通退職より退職金の率が高い。その差額を特別負担金として退職手当組合に支払わなければならない。このため、毎年特別負担金が発生する。</p>
河南委員 総務部	<p>退職者12名の中で、若年で退職する者はいるのか。</p> <p>今年度は、普通退職はない。</p>
栗山副座長 総務部	<p>早期退職者とは、どのぐらいの年齢で退職する者を指すのか。</p> <p>早期退職者は、8月に募集している。勤続20年以上で45歳以上が対象である。</p>
栗山副座長	<p>今年度末の退職者で、一番若い職員は何歳か。</p>

総務部	一番若いもので48歳である。
栗山副座長	退職者の職階はどうなっているのか。
総務部	課長職3名、課長補佐職1名、係長職1名の5名で、ほぼ55歳以上である。
栗山副座長	課長職など、戦力として大事な職員が退職するのは非常に痛いと思うが、早期退職の理由は何か。
総務部	今後、貴重な戦力として働いてくれると期待していたが、個々の事情により早期退職を望まれたことは致し方ないとする。
隅田座長	(歳入) 総務費雑入に関し、広報紙広告料について、増額補正を行うとのことであるが、通常、広告料は固定であり、広告主が撤退すれば減額になると認識しているが、今回、増額と見込む理由は何か。
総務部	広報紙の広告枠は、通常月4枠となっている。しかしながら、追加応募により、「リビングインフォメーション」のページの記事を一部広告に差し替えて掲載するため、増額となる。
隅田座長	毎年、広報紙広告料は増額となるのか。
総務部	毎年、当初見込みよりも増額となる。参考として、通常の4枠について、1年を通して申し込んでいただいた場合は、2割減額、半年間申し込んでいただいた場合は、1割減額している。
隅田座長	電子計算費に関し、本年度更新した新財務会計システムについて、当初予算では、システム使用料として月482,200円の12か月分を見込んでいたが、本年度は基本使用料月97,200円のみで支払いで済んだことにより減額補正するとの説明があったが、契約内容に変更等があったのか。
総務部	新財務会計システムについては、昨年度選定した業者によって、本年度構築作業を行っており、本年4月から本格稼働の予定である。当初、構築作業中も利用料が発生する見込みで予算を計上していたが、契約段階において、業者から半年分は基本使用料のみでよいとの提案があったため、その分を減額している。来年度については、この基本使用料に、各システムの利用料が付加されることとなる。
安井委員	財産管理費に関し、多紀支所解体工事について、旧支所の敷地内に掲示板等が残っている。支所解体とあわせて撤去すべきではなかったのか。
総務部	掲示板の撤去については、平成31年度に予定している駐車場整備とあわせて実施する予定である。
栗山副座長	(歳入) 土地売払収入について、その内訳について説明願う。

総務部	管財契約課の所管としては、里道水路等の売却を7件行い、122万9千円を計上している。その他として、まちづくり部が所管するハートピア北条団地5区画の内4区画分で1,305万5千円を減額しようとするものである。
安井委員	(歳入) 物品売払収入について、公用車更新等による廃車車両2台の売却による収入があったとの説明があったが、公用車の更新の基準は、どのようになっているのか。
総務部	更新は、登録後15年、走行距離15万キロを目安としている。ただし、車両の状態により更新時期は前後する。また、今回売却した主な車両は、ダンプカーで、清掃センターにおいて不要となった車両を集中管理に移行し、代わりにより状態の悪いダンプカーを廃車処分した。
栗山副座長	一般単独事業債(地域活性化事業)に関し、バリアフリー環境整備事業債について、岡野文化会館分として610万円が減額となるとの説明であるが、その要因は何か。
総務部	この事業債は、事業費の90%を充てており、工事費が当初の見込より安価でできたため事業費を減額し、その90%にあたる金額を減額するものである。
栗山副座長	工事費の見積もりが高めに設定されていたのか。
総務部	予算要求時には色々なパターンの工事内容を想定して積算していたが、設置場所を地元協議により現在の場所に決定したことにより工事費が安価となった。
安井委員	(歳入) 固定資産税の増額について、太陽光発電設備への課税は今年度から始まった制度なのか。
総務部	10KW以上の発電能力のある太陽光発電設備については、従来から固定資産税の償却資産の課税対象である。申告をしている方もあったが、今回、経済産業省へ照会したところ申告されていない設備が散見されたことから今回申告を促し、それにより課税するものである。
安井委員	来年度も今回の補正予算額と同程度の税収が見込めるのか。
総務部	今回の補正予算には過年度遡及分が含まれている。現年度分は約1,100万円であり、来年度もこの同額程度は見込めると考えている。
河南委員	太陽光発電設備設置時点で、市として10KW以上の設備かどうか把握できるのか。
総務部	関西電力との契約になるのであらかじめ市では把握できないが、設置業者は把握していると考え。電力の買取制度を活用される場合は、

<p>田村委員 総務部</p>	<p>10KW以上が基準となることから、事業として設置される場合は10KWを超えているものが多い。 (歳入)市たばこ税に関し、税率について説明願う。 たばこ税は国税、県税、市税が課税されており、国：県+市の課税が1：1となっている。消費本数が昨年9月に前年比較26%増、10月に前年比較67%となり、税率引き上げをもっても減収が見込まれる。たばこ税の税率については、旧3級品外と旧3級品の2つに区別され、旧3級品外が平成30年10月に1,000本当たり、5,262円から5,692円に引き上げられた。平成32年10月には6,122円、平成33年10月には6,552円になる。旧3級品は平成31年10月に5,692円になり、旧3級品外との税率の差はなくなり、以後同じ税率が適用されることになっている。</p>
<p>隅田座長 総務部</p>	<p>過日、上場株式等に係る配当所得等に関する個人住民税の課税誤りについて議会にも報告があったが、賦課事務を行う上で、税の知識を深めるためにどのような研修等を行っているのか。 阪神間の市町で協議会を構成しており、新任職員には新任研修、その他専門部会への研修に参加し、税制の理解を深めるようにしている。</p>
<p>隅田座長 総務部</p>	<p>今回の課税誤りは他の市でも発生していたが、情報共有はできなかったのか。 先ほど説明した協議会では課長等が参加する会議もあり、税制の課題や問題点について意見交換を行っている。今回の問題は他市でも同様に税制改正の内容が事務的に引き継がれていなかったことが要因と考えている。今後税制改正の内容を引き継ぎ、事務処理に問題が発生しないよう努めていきたい。</p>
<p><b>■政策部</b></p>	
<p><b>日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第9号)</b></p>	
<p>創造都市課・行政経営課・秘書課</p>	
<p><b>【主な説明】</b> 補正予算書に基づき説明</p>	
<p><b>【主な質疑】</b></p>	
<p>安井委員</p>	<p>公共交通対策事業に関し、高齢者タクシー料金助成事業補助金につ</p>

政策部	<p>いて、今回、2,063万4千円の減額補正をするとのことであるが、今年度の総括として、どのようなところに課題があり、来年度に向けては、どのように進めていくのか。</p> <p>高齢者タクシー料金助成事業は、コミバスの通らない地域をターゲットにしており、タクシー料金のうち、1,000円は自己負担、それ以上にかかる費用については半額助成としている。当初は、75歳以上の方の1割から1.5割を見込んでいたが、利用率は非常に低い結果になった。この事業は2年間試験的に実施するという設計であるため、来年度は予算を減額して実施する予定である。再来年度以降については、福祉総務課とも協議して再検討する予定である。</p>
安井委員	<p>想定していた利用人数と実際に利用した人数はいくらか。</p>
政策部	<p>今年度の利用実績は2,358件の利用の見込みである。</p> <p>当初は16,000件を見込んでおり、結果的には15%程度の利用率となる見込みである。</p>
田村委員	<p>コミュニティバスのルート的大幅な変更により、篠見のほうでは不便になったとの声を聴くがどうか。</p>
政策部	<p>検討を重ねて、ルートの変更をし、利用の少ない地域については市町村有償運送を提案している。福住、村雲地区については地元の意向も伺いながら進めていきたい。</p>
隅田座長	<p>篠山市農村イノベーション管理費について、減額は、地域ラボへの入居が当初見込みの4名より少なかったことによるものか。</p>
政策部	<p>本年度は当初から4名が使用するという計画ではなかったが、結果的に来年度当初には、4枠が埋まる予定である。</p>
田村委員	<p>市名変更関係事業費について、PRの拡充策として、交通広告、新聞広告、Web広告等を行うとの説明があったが、それぞれの積算額について説明願う。</p>
政策部	<p>広告幕300万円、市内向けのぼり、ポスター制作が100万円～200万円、新聞記事250万円、サイネージと電車広告で250万円、インターネット広告が50万円、ラジオ50万円で、企画制作に150万円、テレビ関係で100万円を予定している。</p>
恒田委員	<p>丹波篠山市へ市名変更されても篠山警察署は名称変更をしないとの新聞報道があったが、団体等に対しては、市から変更についての働きかけをしているのか。</p>
政策部	<p>県には知事にも依頼を申し上げた。団体関係に関しては補助金を活用して変更していただけるようにPRしている。また、民間のスポー</p>

	ツ団体等にも変更を検討いただいている。ただし、行政として依頼はしていない。
安井委員	企業誘致促進費に関し、新卒者就職支援奨励金を200万円減額するとの提案であるが、来年度は何人程度を見込んでいるのか。
政策部	来年度は、対象者が増えるを見込んでいる。
安井委員	丹波篠山ふるさと応援団事業について、平成30年度のふるさと納税はどの程度を見込んでいるのか。
政策部	現時点で、約1億3400万円を見込んでいる。
安井委員	前年度と比べると減っているのか
政策部	昨年度は、1億円の大口の寄付があったため、それを除くと約1,000万円の増額見込みである。
安井委員	ふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業に関し、空き家活用基金を活用した寄付物件の改修について、民間による活用を進めていることから直営で改修する必要がなくなったために設計管理委託料と工事請負費を減額するとの説明があったが、直営から民間にした経緯は何か。
政策部	旧今村住宅の改修を予定していたが、3月末に寄附手続きが終わり、大変よい物件であったことから、市で改修して売却や賃貸するより、プロポーザル方式で民間から活用提案をいただき、直接活用していただく方が効果的であると判断したためである。
栗山副座長	わが家・わが村の住もう帰ろう運動推進補助金の減額について、750万円を減額しようとする原因は何か。
政策部	自治会長会や定住促進推進員等にも周知に努めたが、自治会も行事が多く忙しいことと、定住促進の話し合い等はすでに取り組んでいるところもあり、10万円の補助金に対して手間ひまをかけて申請するのが難しかったのではないかと推測する。3か年計画の事業であるため、来年度も同様に予算計上しているが、再来年度以降は、これまでの検証を行い、事業内容等について検討したいと考える。
栗山副座長	執行率が高くなるよう取り組みをお願いします。
政策部	辰巳や池上など、よい取り組み事例があるので、活用事例を紹介し、補助金利用を促進したいと考える。
田村委員	篠山市制20周年記念事業について、丹波篠山市誕生・市制20周年記念式典に向けての記念イベントのチラシ・ポスターや記念式典のプログラム、子ども向けの工作用「まるいのまめりん」の紙製貯金箱の印刷製本費が計上されているが、それぞれ何枚を作成する予定で、

政策部	それぞれの積算金額はいくらなのか。 ポスター400枚、プログラム1,200枚、チラシ18,000枚を予定している。積算額については、ポスター32,400円、プログラム133,920円、チラシ116,640円、「まるいのまめりん」の貯金箱は2,000組を予定しており、916,000円である。
安井委員	秘書費について、研修負担金を減額することであるが、どのような研修を予定していて、実施できなかった理由は何か。
政策部	秘書業務研修を予定していたが、日程の調整が合わず実施できなかった。

## ■選挙管理委員会事務局

### 日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第9号）

#### 選挙管理委員会事務局

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

安井委員	市長選挙費について、11月18日投開票の市長選挙に係る不用額の減額との説明があったが、2月17日の市長選挙に係る費用の精査は含んでいないのか。
選挙管理委員会	選挙後の事後処理を行っているところであり、精査については決算となる。
恒田委員	11月に市長選と住民投票が同時に行われたが、食糧費や通信運搬費など、それぞれにかかった費用は按分となっているのか。
選挙管理委員会	先に住民投票を行う予算を計上した。その後、市長辞職に伴う市長選を同日に実施することとなったため、市長選挙に係る予算を計上させていただいた。投票管理者報酬等は、選挙を同時に実施する場合は、兼ねて支出している。住民投票費で賄えない費用について、市長選挙費として計上しており、食糧費などは住民投票費から支出している。
安井委員	市長選挙費の補正後の予算額3,662万6千円は、11月の市長選挙に掛かった費用となるのか。
選挙管理委員会	補正後の予算額3,662万6千円は、11月実施分と2月の市長選挙に係る予算額である。

- 恒田委員 市長選挙費及び住民投票費の会場使用料は、按分で減額しているのか。
- 選挙管理委員会 住民投票費の会場使用料について、当初、開票場は篠山総合スポーツセンターを予定していたが、都合により、篠山中学校に変更したことから会場使用料が不要となったものである。また、市長選挙費の会場使用料の減額は、公営の会場を使用され、個人演説会を行われた際に支出する費用であるが、見込みよりも少なかったことから減額するものである。
- 栗山副座長 開票場として、今後も篠山中学校を使用する予定はあるのか。
- 選挙管理委員会 開票について、近年、篠山総合スポーツセンターを利用しており、篠山中学校については、臨時的に使用したものである。開票場については、開票作業や駐車場の状況、周辺環境等を考慮した場合、スポーツセンターが適していると考えている。
- 栗山副座長 今回、篠山中学校を使用したことで会場使用料が不要となった。貴重な財源を充てるため、検討課題としてほしい。
- 選挙管理委員会 開票を適切に行うこととあわせて、ご意見を踏まえ、検討していく。
- 恒田委員 市長選挙費及び住民投票費の時間外勤務手当の減額は、按分となっているのか。
- 選挙管理委員会 住民投票費を主として時間外勤務手当を執行している。
- 恒田委員 住民投票費で賄えない費用について、市長選挙費として計上しているとの答弁があったが、そうであるならば、時間外勤務手当についても先に、住民投票費から全額支出すべきではなかったのか。
- 選挙管理委員会 市長選挙と住民投票には共通費用もあるが、それぞれ個別に係る費用もあることから分けて執行している。

## ■教育委員会

### 日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第9号）

#### 中央図書館

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

隅田座長 図書館管理運営費について、図書の購入は国際ソロプチミストささ

やまからの寄付によるものとの説明があったが、寄付の際、購入本に対する要望等はあるのか。

教育委員会

以前は、児童本の充実にとの意向もあったが、近年は、そうした要望等は特にない。

栗山副座長

図書の購入はどのようにして決めているのか。

教育委員会

司書等が図書を選定したうえで購入している。

#### 篠山東部学校給食センター・篠山西部学校給食センター

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

恒田委員

篠山東部・西部学校給食調理費に関し、賄材料費等の減額について、東部で23人、西部で19人と当初積算人数から減少したとの説明があったが、なぜこれほど当初予算時の人数と差が生じるのか。

教育委員会

当初予算の基礎人数は、年齢に基づいており、その中で、中学進学の際に私学に行く者、幼稚園ではなく、そのまま保育園に在園する者等があり、当初予算編成時には把握できないことで差異が生じている。

当初予算は、10、11月に積算している。転入・転出もあるので、学校当たりになると1ないし2名程度となり、誤差の範囲と認識している。

隅田座長

(歳入) 物品売払収入について、給食配送車の更新により、廃車の対象となった旧車両が売り払えたとのことであるが、旧車両の売り払いは過去にもあったのか。あるいは、今回の売り払いには、特段の事情があったか。

教育委員会

昨年度の更新時に売り払い実績があり、38万5千円であった。業者によると、買い取り車両は輸出するとのこと、その時によって値段に変動があるとのことであった。

隅田座長

給食配送車による事故はないか。

教育委員会

今年度はなかった。

## たんば田園交響ホール

### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

### 【主な質疑】

- 隅田座長 交響ホール管理費について、協力者謝礼が減額となっているが、交響ホールオペレータースタッフのメンバーは安定しているのか。また、人員の入れ替えや補充等現状はどうか。
- 教育委員会 現在約60名程度登録されており、一番多い時で120名近くの登録があった。2年ごとに募集を行っているが、年々高齢化も進んでおり、若い人の入会が少ない状況である。
- 隅田座長 現状、ホール運営に関して支障はないとの認識でよいか。
- 教育委員会 出演者の偏りはあるが、現状では支障なく運営できている。しかしながら、将来的に人員確保等について危惧しており、対策について検討しなければならないと考えている。

## 社会教育課

### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

### 【主な質疑】

- 安井委員 青少年育成一般費について、日本PTA全国研究大会新潟大会参加旅費が県負担になったことから減額することであるが、どのような経緯で県負担となったのか。
- 教育委員会 台風の影響により予定していた交通機関が利用できなかったため、公用車を利用したが、その費用を県PTAが負担することになった。
- 恒田委員 日本PTA全国研究大会新潟大会には何名が参加したのか。
- 教育委員会 分科会実行委員会委員1名と事務局職員3名が参加した。
- 田村委員 保健体育総務費について、スポーツ推進委員報酬を一部減額するということか。
- 教育委員会 報酬はひとり1回4,000円で、減額は、事業等への委員の出席日数による精算である。
- 田村委員 スポーツ推進委員はどのような役割を担っており、どのような活動をしているのか。

教育委員会	スポーツ実技の指導やスポーツ振興事業への協力で、過去にスポーツ活動をされていた方やスポーツに興味があり、公募で応募された方が委員とされている。自主事業として体力測定会やミニ駅伝大会の開催、その他ABCマラソンや新春駅伝大会、車いすマラソンなどのスタッフとして活動いただいている。
田村委員	学校の体育の授業などにも関係されているのか。
教育委員会	要請があれば、学校で活動いただくこともあると考える。なお、障がい者の運動会などには出向いて活動されている。
安井委員	教育費雑入について、スポーツ振興くじ助成金が減額となった理由は何か。
教育委員会	スポーツ振興くじ助成金額は、申請に対して日本スポーツ振興センターが査定し、決定した。
隅田座長	査定内容について説明はあるのか。
教育委員会	助成金決定通知のみで、査定内容についての説明はない。

#### 文化財課

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

安井委員	(歳入) 教育・福祉施設等整備事業債について、内堀復元整備工事に公共事業債が使えることになったということだが、どういった経緯があったのか。
教育委員会	平成30年度から文化財の保存活用事業に対する地方財政措置の拡充が行われ、文化財に関するハード整備が起債対象となった。内堀復元整備工事が起債対象となるハード整備に該当するかどうかについて、文化庁と協議し、該当とすることが確認できたため、財源充当したいと考えている。
安井委員	具体的に内堀整備のみが対象となるのか。
教育委員会	そうである。観光拠点整備については、文化庁の補助が50%、残りが市の持ち出しとなるが、今回、その部分が地方債の対象となる。
栗山副座長	文化財の保存整備に係る地方債の拡充について、経過を説明願いたい。
教育委員会	今年度から文化財の保存整備に係る地方債の拡充が全国的に行われ

た。新たなハード整備が対象となるが、内堀整備については、新たに石垣を積むことから、今回、事業の対象となった。

例えば、高石垣は既存の石垣であるため、その修理にはこの事業は活用できない。一方、内堀については、元々の石垣がなく、新たに石垣を積んでいくので、ハード整備と認識いただいたことで、この財源が利用できることとなった。本来、市が一般財源で出すものが、起債が充当できることとなり、交付税措置もされることから、市にとって非常に有利なものである。

栗山副座長  
教育委員会

内堀整備以外に、この地方債の対象となるものはあるのか。

今回は、観光拠点の整備ということから認められたが、地方債の対象となるかどうかは事業ごとによって異なる。

安井委員  
教育委員会  
安井委員

31年度も地方債は活用できるのか。

国から来年度も活用できると聞いている。

教育委員会

脊椎動物化石保護・活用事業について、バス借上料を減額する理由は何か。

市バスを利用したことによる減額である。

#### 学事課・学校教育課

##### 【主な説明】

補正予算書に基づき説明

##### 【主な質疑】

安井委員

小学校及び中学校教育振興費に関し、特別支援教育就学奨励費及び要保護・準要保護児童生徒援助費について、支援基準等はどのようになっているのか。

教育委員会

特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級に在籍している児童生徒を対象に世帯の所得により国の基準に準じて認定のうえ、学用品費や修学旅行費、給食費等学校生活に必要な費用の半額を支援するものである。また、要保護・準要保護児童生徒援助費については、生活保護の基準に一定の基準を乗じたもので判定のうえ、対象費用の全額を支援するものである。

安井委員

何名程度が該当するのか。

教育委員会

1月末時点の見込で、小学校における特別支援教育就学奨励費の対象児童数は47名、中学校の対象生徒数は17名、小学校における要

	保護・準要保護児童生徒援助費の対象児童数は283名、中学校は163名となっている。
栗山副座長 教育委員会	一人あたりの支給額はどの程度か。 学年によって費目が違うとともに、定額支給だけでなく実費支給分もあり一人あたりの支給額は一概に算出できない。
栗山副座長 教育委員会	平均額はどの程度か。 就学援助費の平均は小学校で約7万2千円、中学校で約12万1千円である。就学奨励費は1/2補助であるため、半額程度と考えていただきたい。
恒田委員	スクールバス管理事業について、スクールバスには全座席にシートベルトが設置されていると思うが、低学年と高学年では体のサイズも違う中、基準等はあるのか。
教育委員会	シートベルトは全て設置してある。法的な基準等については手元に資料がない。
恒田委員	一般車両においては、年齢等に応じ、チャイルドシートやジュニアシートが望ましい等とも聞く中、スクールバスのルールは違うかもしれないが、調査の上、必要であれば適切に対応されたい。
教育委員会 安井委員	調査する。 学校教育総務費について、自転車保険加入補助金が減額補正となっているが、加入率はどの程度なのか。
教育委員会	今年度、保険加入状況把握のため対象世帯に対しアンケート調査を実施、回答率は71.5%で、保険への加入率は約92%であり、回答のあった分についてはほぼ加入している結果となった。未回答の約30%については不明である。学校を通じて申請を受け付けているが1世帯1,000円の補助で申請率は高くなく、できる限り多く申請いただけるように、引き続き制度のPRに努めていきたい。
安井委員	100%を目指し、取り組まされたい。
恒田委員	自転車保険については、傷害保険の特約など各社で様々な形態の保険があるが、それら全てが補助対象となるのか。
教育委員会	対人賠償が対象となっていれば特約なども含め、証書のコピーを提出いただいた上で補助している。
恒田委員 教育委員会	制度を知らせるパンフレット等にはそうした記載はあるのか。 記載している。
安井委員	学校地域連携事業について、その事業内容を説明願う。
教育委員会	コミュニティスクールの推進に関する事業を行っている。

河南委員	体験教育推進事業について、バスの借上料の減額が大きいと考えるが、その原因は何か。
教育委員会	当初予算では、自然学校に係るバスの借上げを36台と見込んでいた。1台当たり大型バスは、予算122,773円のところ、入札により74,140円、中型バスは、予算103,772円に対し、61,756円であったことから、あわせて183万円の減額をお願いするものである。
河南委員	入札による減額幅が大きいと考えるが、当初予算の見込みがあまかったのではないかと。当初予算の積算根拠はどうであったのか。
教育委員会	近畿運輸局が示す時間や距離単価を基に積算を行った。その単価の下限額で落札されたため、減額が大きくなった。
隅田座長	学習環境支援事業について、早期発達支援室の設置は非常によい取り組みと考える。設置に至る経緯と今後の取り組みについて説明願う。
教育委員会	篠山市における特別支援教育の推進にあたって、従前から篠山養護学校がその中核を担ってきた。しかしながら、現在、篠山養護学校の幼稚部では肢体不自由部門の設置のみとなっている。一方、市内における特別な支援を必要とする幼児は、発達障害、知的障害が多くを占めている。そうしたことから早期発達支援室を篠山養護学校敷地内に設置し、発達障害及び知的障害のある幼児を対象とした早期からの積極的かつ専門的な支援を行っていきたいと考える。
隅田座長	こども発達支援センターとは連携していくのか。
教育委員会	しっかりと連携をとっていきたいと考えている。
隅田座長	学校教育充実事業について、ALTが中途退職したとの説明があったが、そうしたことはこれまでもあったのか。また、それに対する罰則規定等はあるのか。
教育委員会	今回の中途退職の理由は、大学に進学したいとのことであったが、これまでそうした事例はなかった。罰則規定などは設けていないが、帰国渡航費や荷物の運搬費等については市として支払いしない。
隅田座長	学校現場において、退職による影響はなかったのか。
教育委員会	8名のALTの派遣先の学校や派遣曜日の組み換えにより、各学校で不均衡が生じないように対応した。

教育総務課・こども未来課

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明

**【主な質疑】**

- 安井委員 幼保一体化推進事業に関し、木のおもちゃに係る備品の減額について、市内すべての園に配布した上での減額という認識でよいか。
- 教育委員会 予定していた園にすべて配布したが、入札を行ったことで残額が生じたことによる減額である。
- 隅田座長 たきこども園整備事業について、建物は予定通り進んでおり、まもなく完成となるとの説明があったが、入園希望者の状況はどうか。
- 教育委員会 現時点で来年度の入園者数は、定員115名のところ71名となっている。
- 隅田座長 当初の見込みと比べて多いのか、少ないのか。
- 教育委員会 ほぼ当初の見込みどおりである。
- 河南委員 味間認定こども園費について、現在の待機状況はどのようになっているのか。
- 教育委員会 今年度については、現在、待機児童はいない。

■議会事務局

日程第1 議案第28号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第9号）

議会事務局

**【主な説明】**

補正予算書に基づき説明

**【主な質疑】**

- 恒田委員 議員人件費に関し、今回の議員報酬の減額は議員1名分のみか。
- 議会事務局 そうである。11月9日の辞職から2月17日の市議会議員補欠選挙までの期間の報酬を減額している。
- 恒田委員 2月17日の補欠選挙を見込んで減額したということか。
- 議会事務局 市長選の実施が決まっており、それにあわせて補欠選挙の実施が確定していたため、2月17日までの期間で議員報酬を減額しようとするものである。

恒田委員	再度確認するが、議員 1 名分の減額か。
議会事務局	そうである。
河南委員	議会費に関し、本年度は、本会議場の設備改修を行ったが、議員協議会室の音響設備もかなり老朽化しており、委員会運営において、支障をきたす場合もあるが、そうした設備改修の検討は行っているのか。
議会事務局	改修には財源確保も必要であることから、年次計画をたてて、改修等を行っており、平成 31 年度は議員協議会室の音響等の設備改修を計画しており、6 月補正予算で提案を予定している。
安井委員	現在使用しているタブレットが貸与から年数が経過しており、バッテリーの消耗が早くなっている。今後の設備改修にあわせて、本会議場の各議席に電源を取れるよう改修できないか検討してほしい。
隅田座長	タブレットの不具合については、複数の議員から聞いている。今後、更新も含めて検討願う。
議会事務局	平成 26 年 3 月にタブレットを貸与し、5 年が経過した。職員一人一台パソコンも 5 年ごとに更新しており、それに準じて、平成 31 年度にタブレットを購入・更新したいと考えている。

#### ■議員協議

隅田座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 意見なし —

隅田座長 補正予算特別委員会全体会に持ち上がるべき市長等への質問等についてはどうか。

— 市長等への質問等なし —

#### ■意向確認

議案第 28 号 平成 30 年度篠山市一般会計補正予算（第 9 号）

— 修正・反対等の意見なし —

隅田座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、正副座長

において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

隅田座長 閉会宣告

15:50 閉会